



第6章 マスタープランの実現に向けて

1 都市づくりの基本的な進め方

都市計画マスタープランは、都市づくりの理念や目標を定め、これからの島原市の都市づくりの基本的な考え方を示すものです。都市づくりの実現に向け、都市計画マスタープランのそれぞれの方針について、具体的に取組んでいく必要があります。市民と行政が協働し、よりよい都市づくりに向けて取組みます。

(1) 諸制度の積極的な活用

都市計画マスタープランを実現するために、社会情勢の変化や市民ニーズを踏まえ、マスタープランに示す方針に沿って、用途地域等の土地利用規制や都市施設である道路、公園・緑地、下水道等の整備について、都市計画制度の積極的な活用を図ります。

また、都市づくりの進捗状況等を適宜確認し、地域の特性を活かした、きめ細かい都市づくりを進めます。

(2) 市民協働・参画による都市づくり

都市づくりは、地域に住み、働き、生活している市民と行政が手を取り合って進める必要があります。市民、市民団体、事業者、行政が協働し、都市の将来像や地域づくりの方針への共通認識のもとに、責任と役割を担いながら進めます。

また、更に実効性の高いものにするため、市民、事業者等の積極的な参画が必要です。

市民への情報提供や市民ニーズの把握等、都市づくりの初期段階から市民が参画できるように、地域単位での「まちづくり」環境の整備や市民等への都市づくり活動の支援を行います。

(3) 関係機関との連携

計画的、効率的に都市づくりを進めるため、国や県をはじめとした関係機関との連携・協力を図るとともに、必要に応じ、個別事業における積極的な働きかけを市民や事業者等とも連携しながら行います。

2 都市づくり進展の点検と見直し

都市計画マスタープランの実現に向けた点検と見直しについては、市民、事業者、専門家（学識経験者）、行政等で構成する推進体制（推進委員会）により、P（計画）→D（実行）→C（確認・評価）→A（改善）サイクルを用いた点検と見直しを行います。更に、上位計画の見直しや社会情勢の変化を踏まえ、適切に都市計画マスタープランの見直しを行います。

点検方法のフロー図を以下に示します。

■都市計画マスタープランの評価・見直しの流れ

